

中川左岸外郭防潮堤（上平井水門～西葛西区間）は過去の地盤沈下影響による護岸の亀裂、漏水など老朽兆候が表面化している以外にも課題が山積されていることから早期更新を図るため現行のスーパー堤防計画と異なる新たな方策について東京都への意見書提出を求める陳情

（建設委員会付託）

受理番号 第115号

受理年月日 平成22年9月22日

付託年月日 平成22年9月30日

陳情者 . . . . .  
. . . . .

### 陳情原文

- 1 中川左岸外郭防潮堤は過去の地盤沈下影響により、カミソリ護岸部の亀裂・漏水および裏法面の歪み・陥没・ふくらみが発生している実態にあります。
- 2 中川左岸は荒川左岸としての外郭防潮堤機能を有していますが、中川左岸は荒川右岸と比較し河川敷幅も狭く防潮高も低い実態にあります。
- 3 水害時、中川左岸外郭防潮堤天端はこの地域唯一の高台としての機能を発揮しますが、現状はこの天端から小松川橋・船堀橋他のアクセスルートが整備されていないことから松島・西小松川地区他の住民は避難先である大島小松川公園への移動が天端経由で出来ず、避難住民が天端上で孤立してしまう実態にあります（天端から小松川橋へ上がることが不可）。
- 4 水害時、中川左岸外郭防潮堤天端への昇降アクセスルートが整備されておらず、急な階段のみであることから車椅子・体の不自由な方・お年寄り・子供などの弱者は天端への昇降が困難な実態にあります。
- 5 河川法に基づいた外郭防潮堤緑化等の環境配慮が不十分な実態にあります。
- 6 都道450号は新川に架かる西水門橋開通後、船堀街道の抜け道として交通量が増加したことから、中川左岸外郭防潮堤天端へのアクセスに危険を伴う実態にあります。（H21.12.17松江第二中学校脇の都道450号でひき逃げ死亡事故発生）
- 7 江戸川区内の1級河川天端は「健康の道」が整備されておりますが、中川左岸外郭防潮堤天端は「健康の道」が未整備の実態にあります。
- 8 中川左岸外郭防潮堤天端への車両等の乗り入れが不可能な脆弱構造であることから水害時緊急復旧作業の遅延をきたす可能性があります。

上記のとおり、中川左岸は外郭防潮堤として江戸川区ゼロメートル地帯を洪水・高潮水害等から防御するための最重要構築物であるにも係わらず老朽兆候と脆弱な防潮堤構造、河川環境（緑化等）に配慮・整備されていないなど多くの課題が残ります。

（裏面に続く）

つきましては、貴議会において審議のうえ、下記のとおり東京都あてに意見書を提出されますよう陳情いたします。

#### 記

- 1 台風高潮災害他から江戸川区民の人命を守るため、中川左岸外郭防潮堤（上平井水門～西葛西区間）の信頼度向上確保のため現行のスーパー堤防計画とは異なる新たな方策について、早急に検討・計画・実施を図ってください。
- 2 河川法に基づき環境に配慮した親水護岸として再整備を図ってください。
- 3 洪水発生時他の緊急避難ルートとして中川左岸外郭防潮堤天端から小松川橋・船堀橋他橋梁へのアクセスルートを整備し、対岸の防災拠点である大島小松川公園への避難誘導が安全かつ円滑にできるよう整備を図ってください。